

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	年二回の避難訓練に加えて招集訓練も行い、マニュアルを整備して防災意識を高めているが、夜間訓練や近隣住人参加型の訓練を行う必要がある。	現在の訓練に加えて夜間訓練や近隣住人参加型の訓練を行いあらゆる災害を想定し防災意識を今よりも高く持ち災害に備える。	運営推進会議などの機会を利用して地区長や民生委員、その他数名の方に参加して頂き、訓練を実施し徐々に参加人数を増やして行き、記録を残し次回につなげる。	6ヶ月
2	13	新人職員が多いこともあり、利用者様一人ひとりにどう向き合うか考えるために事例検討会や研修会を行う必要がある。	事例検討会や研修会を開催し職員一人ひとりの技術向上やサービスの質の向上を図る。	数ヶ月に一度職員が参加しやすい時間帯を活かして事例検討会や研修会の機会を増やしていく。	6ヶ月
3	48	外出をしたがらない利用者様もいる中で個別ケアとして一人ひとりの行きたい場所やなじみの深い場所等を取り入れて外出支援を行う必要がある。	一人ひとりの行きたいところや馴染みの場所などの要望を取り入れて喜びや満足感に繋がるように外出支援を行う事が出来る。	利用者様の要望を聞き取り、近場からの外出や散歩等を行い、誕生日等の特別な日には半日程度の外出を利用者様の身体機能や体力を踏まえて計画し安全に考慮しながら実施する。	6ヶ月
4	10	利用者様のご家族様は頻回に訪問しホームでの様子を見て安心しているが、面会の頻度が極端に少ないご家族様もおられる状況である。	多くの利用者様家族が頻回に面会に来られ行事やイベントに参加して頂く事が出来る。	毎月の手紙や面会時に日常生活の状態報告に加えてイベントや行事の参加を呼び掛ける。	6ヶ月
5	2	開設して一年を迎えたばかりで近隣の住人との付き合いは深まっていないが、地区長の声掛けで祭りの子供獅子が休憩場所として立ち寄り利用者様と触れ合っているが、その他の機会も利用して近隣住人と付き合いを深めていく必要がある。	オレンジカフェ等、交流の機会を作り近隣の住人や他の事業者との付き合いを深めていく。	現在の事業所の状態などを踏まえてオレンジカフェの実施の検討を行う。オレンジカフェの情報交換会を出来るだけ参加し意見交換を行う。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。